

次世代の果樹栽培法：盛土式根圏制御栽培法

この栽培方法は、根域を制限するため遮根シート上に盛土し、密植します。コンパクトなY字樹形で管理がしやすく、適切な養水分管理により、早期多収を可能にする栽培方法です。

栃木県農業試験場が開発した技術で、平成28年度から革新的技術開発として埼玉県でもブドウやナシで実証試験に取り組んでいます。



盛土の上にシートを被せ
2 mおきに苗木を定植



2年目で簡単なY字樹形
の出来上がり



主枝の形はコの字型で慣行
より結果枝を多く配置できる

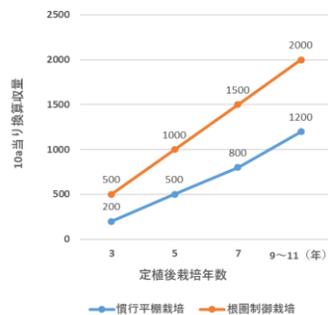


かん水は電池式コン
ローラーで手間いらず



水分の供給はドリッ
プ式

表1 シャインマスカット定植後の収量：
慣行平棚栽培と根圏制御栽培の比較
(久喜試験場調査)



根圏制御栽培のメリット

- 1 定植後3年目に収穫できる。
- 2 早期多収化が図られる。
- 3 作業の省力化や軽労化が図られる。
- 4 土壌病害の回避
- 5 品種更新が容易

注意点：

導入にあたっては、水源、電源の確保など専門家の支援が必要な場合があるので、関係指導機関に相談することをお勧めします。